



Japan-Micronesia Conference on Construction



日・ミクロネシア建設会議結果概要について

2009年3月12日

1. 趣旨

国土交通省は、去る3月4日、ミクロネシア連邦政府と共に「第1回日ミクロネシア建設会議」を開催し、両国より多数の関係者が参加して活発な情報交換が行われました。

本会議は、ミクロネシア連邦を始めとする多くの島嶼国において利用可能な我が国建設業の有する環境技術や、持続可能な開発に資する地場産業育成の為にインフラ整備などの技術・ノウハウを紹介し、将来のビジネス機会の拡大を果たすため、日ミクロネシア両国の建設業所管省庁、両国の建設会社及び関連団体から約50名が参加しました。

2. 開催日時・開催場所

2009年3月4日（水）10:00 - 12:30

ミクロネシア共和国 ポンペイ（於 セントラルファシリティ・パリキールキャピタル）

3. 参加者（約50名）

(1) 日本側

国土交通省 総合政策局国際建設市場室 小森課長補佐 他
外務省 在ミクロネシア日本国大使館 佐藤大使 他

(2) ミクロネシア側

資源開発省 ピーター・クリスチャン資源開発大臣
資源開発省、外務省、ポンペイ観光局、ミクロネシア大学、ミクロネシア建設企業 等

4. 会議概要

- (1) クリスチャン大臣から、ミクロネシアにおけるこれまでの日本政府による支援への感謝が述べられると共に、環境に配慮した建設事業及び観光振興は同国の繁栄に不可欠であり、ミクロネシア本会議を通じて、両国の政府・企業間における新たな建設・観光ビジネスの場が生じることを祈念する旨の挨拶があった。
- (2) 小森国土交通省課長補佐からは、会議を通して、ミクロネシアと日本の交流が深まり、両国が環境に配慮した持続ある成長に寄与することを期待するとともに、今後、ミクロネシアが持続的な経済発展を実現するため、現在の産業である農業や漁業などに加え、独自の新たな産業が開拓・育成されることを期待する旨の挨拶があった。
- (3) 佐藤在ミクロネシア日本国大使からは、これまでの我が国によるミクロネシア共和国への経済協力の実績が紹介されると共に、本会議を通して両国の建設産業・観光業が活性化することを期待する旨の挨拶があった。

講演内容については、日本が、これまでに蓄積した環境に配慮した建設技術や、社会インフラ整備において貴重な自然環境との共存に対応する技術など、最新の建設技術であると共に、持続的な発展を目指している、ミクロネシアにとって有用な技術を紹介した。



小森課長補佐



佐藤大使



クリスチャン大臣



会議風景

問い合わせ先 代表電話 03-5253-8111

国土交通省 総合政策局 国際建設市場室 小森・河原:ext.25213、夜間直通(03-5253-8316)